



九条はらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 6 6
2008(平成20)年6月15日(日)発行

く約800年前、イギリス憲政のみなもとの、「マグナ・カルタ(大憲章)」の成立
1,215年イギリス王ジョンの圧政や失政に反抗して、貴族・僧侶・市民は“王も法の支配に従うこと”を約束させたのが、「マグナ・カルタ」です。1,628年の「権利の請願」、1,689年の「権利章典」とともに、イギリスの憲法の三大法典とされ、イギリスには特に「憲法」はなく、これらが憲法となっています。



勤労働員の作業に明け暮れた
原町区桜井町 塙 満

私は一九三〇(昭和五)年七月一日、鹿島区江生生まれで、今年七十八歳です。

憧れの相馬中学校に入学

昭和十八年三月に鹿島の真野国民学校を卒業。十二歳で大きな希望を胸に相馬中学校(現在の相馬高校)に入学します。勿論鹿島の自宅から中村町(相馬市)まで「汽車通」です。しかし、憧れの中学生になれたものの、当時は昭和十六年十二月から太平洋戦争が始まっていたので、入学後一学期ぐらひは教室で勉強しましたが、その後終戦までずっと学徒動員で穴掘りなどの作業の毎日でした。

相中生の全員が学徒動員に

昭和十九年、相馬中学生は全員学徒動員になり、五年生は福島市の日東紡績工場へ、四年生は神奈川県川崎市の工場へ(二名の犠牲者が出た)、三年生は福島県の石川町の飛行場へ、私たち二年生も地元で動員作業に駆り出されました。中村町の原釜や新地町の海岸では、海水を汲んで大きな釜で煮沸し、塩を取る製塩作業を行いました。原釜の北に高い煙突の製塩所があり、そこには五、六十人の朝鮮人が働かされていました。終戦間近の頃、爆撃でかなりの朝鮮人が死んだと聞きました。

原一小に寄宿して作業場へ

昭和十九年の五月か六月頃から、原町

にあった陸軍飛行場に関連した作業も行いました。家は鹿島ですから、原町小学校(現在の原町第一小学校)に寄宿し、そこに数ヶ月寝泊まりし、そこから原町のあちこちの動員の作業に出かけました。寄宿も動員作業の指導も、相馬中学校の教員でなく軍曹や伍長などの軍人が、直接私たち相中生を指揮しました。

食事は「亀〇〇」という仕出し屋さんで毎日リヤカーで運んできました。大豆メシで大豆のカスに米が少しだけ入っているまぜいご飯でした。

寄宿してすぐに、不衛生でしたから、虱(シラミ)が増え、痒くて痒くて夜は眠れなかった。みんな裸になって毎日虱つぶしをしたり。風呂は数日に一回、青田材木屋さんに入りに行きました。何百人も入るので、体など洗わないでただザボンと湯につかるだけでした。空襲の時は校庭のけやきの木のそばに四、五カ所あった防空壕に逃げました。

姉から白米のおむすびを買った

毎日辛い作業でしたが、私には嬉しい「役得」がありました。私の姉が原町の呉服店に嫁いでいて、私は指導の軍人から、特攻隊の首に巻くスカーフを買ってこいと命令され、姉の店に行くことができました。すると姉はいつも、空腹の私のために白米のおむすびを作ってくれて、それま本場に

美味しかったし、楽しみでした。戦争時代の、嬉しかった思い出です。

大木戸に飛行場の弾薬庫を作る

原町飛行場の飛行機の「避難所」作りの穴掘りは、御本陣山の旧消防署の望楼のところや、石神の欠下などで行いました。また移転する格納庫の資材運びも行いました。

よく覚えていっているのは、十九年の夏の暑い毎日、大木戸の原町高校グラウンドのすぐ南、笹部川の北側の堤防(野馬土手)を利用した「弾薬庫」作りです。現在のような重機などまったくありませんから、スコップで穴掘りし、モッコで土を運んだり盛り土したり、本当に辛い作業でした。確か四隅には柱を立てる土台の大きな礎石があるはずですが、弾薬庫は完成しないうちに、翌二十年終戦になりました。



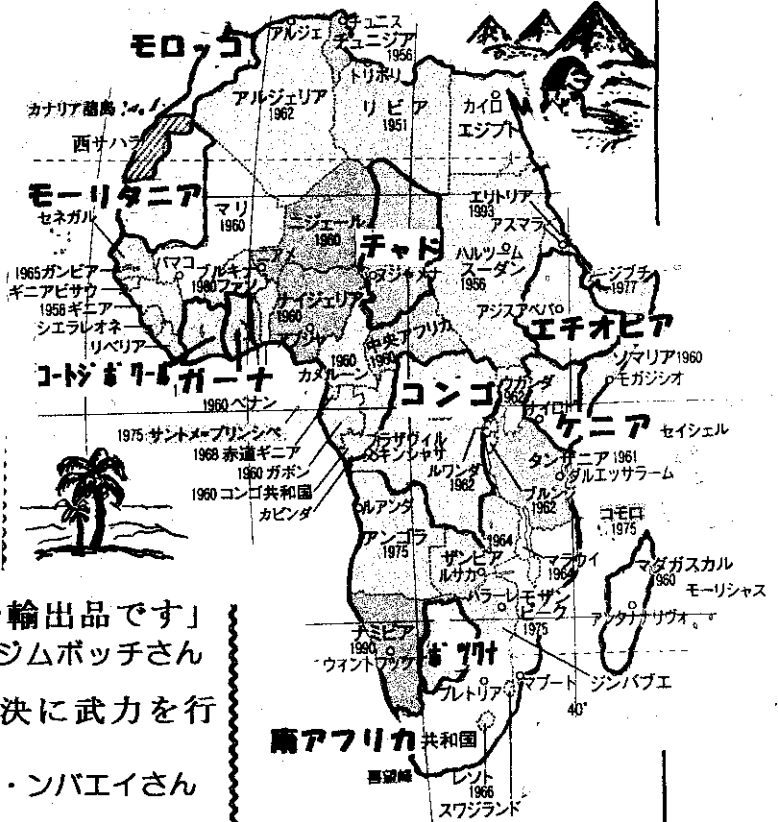
▲塙さんたちの学徒動員で作られた原町飛行場の「弾薬庫」跡(原町高校のすぐ南)。左手の野馬土手を利用し周囲に土盛りをした。今は草木が生い茂り、そんな戦時中のことを知る人は少ないようです。塙さんは原町高校に勤めていた時、「昔を思い出して、一人で何回も見に行った」と話されています。

日本の「憲法9条」がアフリカを変える！

「憲法9条」は日本の世界への重要な輸出品です

<5月29日放映・テレビ朝日「報道ステーション」より>

■日本主導で話し合った第4回アフリカ開発会議（TICAD）が5月28日から横浜市内で開催され、アフリカ53カ国中40カ国が参加しました■それらアフリカの国々は、日本の経済や文化に大きな関心を持っていますが、特に注目しているのは「日本の憲法9条」についてです。ガーナ憲法には「9条」が取り入れられ、部族間の紛争を相互理解によって解決し平和を築いています■ご覧になった方も多いと思いますが、5月29日夜、テレビ朝日の『報道ステーション』の特集「日本の憲法9条がアフリカを変える」の番組の中から、アフリカの人々の「9条」に寄せる熱い印象的なうれしい言葉を、テレビ画面から抜き書きしてみました。



◆「“憲法9条”は、日本の世界への重要な輸出品です」

..... コンゴの憲法草案起草者エル・ハジムボッチさん

◆「“憲法9条”が意義深いのは、紛争解決に武力を使用しないと宣言していることです」

..... ケニア代表フローレンス・ソバエイさん

◆「アフリカは多くの紛争・暴力を抱えている。私たちは日本が悲惨な体験をした後、繁栄を成し遂げたことを良いお手本にしたい」◆「私たちは日本から学ぶべきです。日本は“憲法9条”でどの国とも戦わないと宣言しました。武器もなし、兵力もなしが本当の平和をもたらします。武力による鎮圧は破壊につながるだけです。一時的に落ち着いても結局争いに戻ってしまいます」◆「日本の“憲法9条”をガーナ国内やアフリカ全体に伝えたい

..... ガーナ代表ボンバンデさん

◆「ガーナの憲法成立には日本国憲法の影響がありました。ガーナ憲法の前文でも、『世界のすべての人々との“友好と平和の精神”をかかげています。新憲法にとって平和は最重要項目でした」

<1992年ガーナ平和憲法の誕生>
..... ガーナ憲法草案作成委員長・S.K.B.アサンテ博士

◆「日本やガーナが長い間戦争をしていないのは、憲法のおかげだと思います」◆「日本は他国も攻めないし、戦争にも参加しない」

..... ガーナの学生

○こうしてみると、日本の“憲法9条”はアフリカだけでなく、「南極条約」「宇宙条約」「海底非核兵器条約」「バンコク条約」「ペリндаバ条約」（東南アジアとアフリカの非核兵器条約）など、国際的に大きな影響を与え平和に貢献し、まさに“世界の宝”になっています。

○英誌のエコノミストが世界121カ国を対象にした「平和度指数」（犯罪傾向・軍事費・兵器の販売・テロの危険性など）では、日本がG8では最高の5位でした。1位はルーマニア、2位ユースラヴ、3位デンマーク、4位アイルランド、5位日本は“憲法9条”が大きく貢献していることは確実です。

<遠くて近いアフリカ>

- ①全アフリカは**53カ国**。日本の80倍の面積、人口8億
- ②平均寿命49.6歳。子どもは6人に1人が5歳前に死亡。3億人が1日1ドル（約100円）未満の貧しい生活。
- ③ヨーロッパの植民地になり国境は経線や緯線の直線で勝手に引かれ民族も分断された。
- ④奴隷として1500万人がアメリカ大陸に連行され、その労働歌がブルース・ロック・レゲエになりました。
- ⑤野口英世博士が活躍しなくなった国は**ガーナ**です。
- ⑥アフリカからの輸入品は、●カカオ豆（チョコ）は**ガーナ・コートジボアール**から●コーヒーは**エチオピア**●ダイヤモンドは**ボツワナ**●**南アフリカ**●タコは**モロッコ**●**モーリタニア**から●携帯電話の希少金属も●バラの花の20%も●上野動物園の100種の野生動物もアフリカから。
- ⑦そもそも、人類の起源は、**チャド**で700万年前のこと。

○経済大国日本はアフリカを、「黒人の国」「遅れている貧しい国」「後進国」などと蔑視したり軽視している間にアフリカは、日本の平和憲法から多くを学び、着々と紛争を解決し崇高な平和構築のために邁進し、立派に発展を遂げつつあります。21世紀はアフリカの国々から逆に、日本が学ぶことが多くなりそうです。